

令和元年 6月20日

保護者 各位

道川保育園
園長 金森利一
(公印省略)

労働環境の改善について

行事の子どもを楽しみを大切にしてほしい旨の要望がありました。これを受け、下記のとおりご説明を申し上げます。

子どもを楽しみを大切にする視点とは異なる視点、すなわち保育園の保育理念や保育方針、又は「子どものため」という職業倫理等の価値観よりも、働くにあたっての現実的な労働環境を非常に深刻にとらえています。

保育士は、保育現場に加えて、指導計画書・報告書などの書類作成という業務があります。これらの業務は、長年の慣例として、保育士の責任感と奉仕の精神に甘え、園内と自宅での時間外労働となり、業務の負担増が生じて来ていたのが実情です。

そこで、労働環境の改善の一環として、業務の負担を軽減するため、行事の見直しを行いました。

特に子育て世代の保育士には、「残業なし」「有給取得率が高い」「仕事と家庭の両立ができる」等の「労働環境の改善」に取り組むことが課題となっています。

この改善のねらいは、保育士の良い人材の採用と職場の定着により、長期的な「事業の継続」であります。

保育園が“働き方改革”を迫られ、転換期にあると考えています。

職員の満足度を上げていくこと、職員が笑顔で仕事ができること、幸せを感じられる職場であれば、自然とよりよい保育につながっていくと信じております。

何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。